



「水性塗料」と「油性塗料」の違い



塗料の分類方法は、「ウレタン塗料」、「シリコン塗料」、「フッ素塗料」、「無機ハイブリッド塗料」などの成分の違いによる分類に加えて、それぞれに「水性塗料」と「油性塗料」という性質上の分類があります。「水性塗料」は、ほぼ1液型塗料しかありませんが、「油性塗料」には1液型塗料と2液型塗料という2種類があります。

- 1液型塗料:** 塗料缶から出してそのまま使える塗料。
- 2液型塗料:** 主剤と硬化剤という2種類の塗料を混ぜ合わせて使う塗料。



塗料の分類	水性塗料	油性塗料
主成分	水	有機溶剤
混ぜ合わせ	ほぼ「1液型」のみ	「1液型」と「2液型」がある
メリット	価格が安い・施工が簡単・臭いがほとんどしない	耐久性に優れている・密着性が高い・汚れに強い
デメリット	「油性塗料」と比較して耐久性が劣る	価格が高め臭いがある施工の技術が必要



「水性塗料」と「油性塗料」どちらが良いのか？

結論から申し上げますと、同じ成分の塗料であれば「油性塗料」の方が長持ちします。加えて、「油性」の中でも「1液型塗料」よりも「2液型塗料」のほうが長持ちします。ここで言う長持ちとは、「耐久性」と「密着性」、「防汚性」を指します。

確かに、メーカーの努力もあって水性塗料でも長持ちするようになってきてはいますが、塗料の本質から見ると、「油性2液型塗料」の方が「水性塗料」と比較して強靱な塗装の膜を形成するため「長持ち」すると言えます。

ご予算と状況が許されるのであれば「油性塗料」の方が総合的に良い塗料と言えます。



「油性塗料」のデメリット

- 1) 塗料の価格が少し高い。**
「水性塗料」と比べて「油性塗料」は価格が高めですが、耐久性は「油性塗料」の方がおよそ3年以上は長いと言われています。
- 2) 臭いが強い。**
「水性塗料」はほぼ臭いがありません。「油性塗料」はシンナー独特の臭いがあり、塗料を塗っている最中は多少家の中に臭いが入ってくる場合があります。しかし、塗料が固まってしまうと臭いはなくなります。
- 3) 「油性2液型」の塗料は、混ぜ合わせて使う手間と時間がかかる。**
2種類の塗料を一定の比率で混ぜ合わせる必要があります。また、混ぜ合わせた塗料を十分に攪拌(かくはん)しなくてはいけないなど、各種手間と時間が必要になります。さらに塗料を適切に扱う専門技術も求められます。

タケエリフォーム からのご提案!



「水性塗料」は臭いがしない、作業性が良い、価格が安いなどの理由から、一般的な塗り替え工事によく使われている塗料です。しかし現場では、「シリコン」や「フッ素」など成分の違いは別として、同じ成分なら多少価格が高くても、仕上がりがよく長持ちする「油性2液型塗料」のほうが良い塗料だということはメーカー、問屋、塗装職人もみんな知っています。

それでも「油性2液型塗料」は、混ぜ合わせる手間がかかる、材料や刷毛などの価格も高い、作業には専門技術が必要などの理由から、残念ながら好んで使う業者が少ないのが現状です。

塗装工事は建物をいつまでも美しく、雨風から守るために行うものです。ご予算や状況が合えば「油性2液型塗料」を選ばれることをおすすめします。